

## 広報写真で振り返る 2021 年



コロナが猛威を振った 2021 年。市内では感染症対策を講じた上で、いろいろな施設の開所式や東京 2020 オリンピック関連イベントなどが開催されました。ここでは市の広報写真を通し、2021 年のさまざまな出来事を振り返ります。



- 1 3月13日、パーソルワークスデザイン株式会社が市内2拠点目となる佐世保第一アウトソーシングセンターの開所式を開催しました
- 2 3月28日、九十九島を大パノラマで見渡せる九十九島観光公園(野崎町)の供用を一部開始しました
- 3 3月31日、「飛鳥Ⅱ」が県内初となる発着クルーズを佐世保港で実施し、出港を見送りました
- 4 4月28日、吉井地区複合施設内に

- 福井洞窟ミュージアムがオープンしました
- 5 5月8日、東京2020オリンピックの聖火リレーと、最終ランナーの到着を祝うセレブレーションが市内で開催されました
- 6 5月26日、新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まりました
- 7 7月17～20日、スペインハンドボール男子代表チームがオリンピックの事前キャンプを本市で行い、市内の

- 中学生・高校生が練習を見学しました
- 8 8月16日、東京2020パラリンピック聖火リレーの種火を採る佐世保市採火式が開催されました
- 9 9月21日、船舶の設計などを行うふくおかクリエイティブ株式会社と長崎県、本市が立地協定を締結しました
- 10 10月18日、大湊町の佐世保市動物愛護センターが供用を開始しました

## 佐世保商工会議所主催「IR事業説明会」が開催されました

11月18日(木)、日本初のIR(特定複合観光施設)産業への理解を深めることを目的として、佐世保商工会議所主催の「IR事業説明会」がアルカス SASEBO で開催されました。説明会では九州・長崎 I R 設置運営事業予定者の「CASINOS AUSTRIA INTERNATIONAL JAPAN (CAIJ)」による事業説明が行われ、会場には県内外から1,000人を超える会員企業や関係者等が集まるなど関心の高さがうかがえました。

開会のあいさつで、同商工会議所の金子卓也会頭は「地方の発展には新たな核となる産業の誘致が必要であり、IRに大きな期待をしている。区域認定のハードルを越えるには地元の熱意も必要である」とIRへの期待を示し、CAIJの林明男代表取締役社長は「地方創生型の新しいまちづくりを目指す。この地から新たな文化を世界に発信していきたい。国の認定を勝ち取り、皆さんに貢献したい」と意気込みを述べました。

その後、CAIJ 担当者から、IRがもたらす年間約3,200億円の経済波及効果や約3万人の雇用創出効果、MICE・ホテルなどの施設整備に関する説明が行われ、参加した皆さんは熱心に耳を傾けていました。

この事業では、運営に必要な物資は「地元調達 100%」

を目指されており、大きな商機となるIR事業が地域経済の活性化につながることを期待されています。



(写真上) CAIJによる事業説明の様子(下左)佐世保商工会議所・金子会頭(下右)CAIJ・林代表取締役社長

☎ IR推進室 ☎ 24-1111

## 前畑崎辺道路の建設工事に伴う「天神公園」の利用休止のお知らせ



自衛隊による崎辺地区の利活用が進む中、大黒・天神地区の道路交通環境を改善するため、市中心部と崎辺地区を直結する「前畑崎辺道路」の建設工事を進めています。令和4年度から天神公園の地下に道路を建設するため、本年4月中旬から公園施設の一部を利用休止し、令和5年1月から令和7年3月末までの期間は「全面休止」を予定しています。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 利用休止期間

- 遊具広場側区域(オレンジ)  
令和4年4月中旬～令和7年3月末(予定)は出入口を封鎖。遊具やトイレ、駐車場の利用を休止します。
- グラウンド側区域(ピンク)  
令和5年1月～令和7年3月末(予定)は出入口を封鎖。グラウンドや芝生広場の利用を休止します。

☎道路整備課、公園緑地課 ☎ 24-1111